



アメリカテマリシモツケ

落葉／低木／木本植物／外来種・園芸品種



科名 バラ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い

赤紫の葉、ピンクを帯びる花、そして赤い実をつける'ディアボロ'と新芽が黄金色、白花の'ルテウス'がある。樹高1～1.5m程の園芸品種。どちらも植込みのアクセントとして人気がある。コデマリを大きくしたような花をつけるアメリカ原産のテマリシモツケの仲間。



新葉時期



葉



花



実

Memo

鮮やかなカラーリーフが特徴の園芸品種。周囲の植物との組み合わせでより効果的な配植になる。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花	花期					■							
果	果実						■						
紅	紅葉											■	
施	施肥		■										
剪	剪定		■					★★					

★：花芽分化の時期（分化後に剪定すると花付が少なくなる）

好みの環境				
日当たり	陽	○	○	陰
土壌	乾		○	湿
寒さ	強	○		弱
暑さ	強	○		弱
潮風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
			○	○	○		

ポイント

寒さにも強く、日当たりを確保すれば土壌を選ばない。ある程度の大きさになると、自然に樹形がまとまるので、徒長枝や枯れ枝を取り除く程度で維持できる。カラーリーフを生かした配置がお薦め。

剪定

幼樹の時期は根際より多数の枝を伸ばす傾向があるが、生長するとこんもりとまとまってくる。混み入ってきたら、枝を間引く。花後、直に実が色づくので、花殻を残して剪定すると実も楽しめる。

病虫害

病虫害は少ない。